

2014年度予算要求114項目を提出

すみよい厚木をつくるために、 医療・福祉、子ども、経済、防災、食、平和

求 2014年度予算要
日 114項目を12月18
厚 木市長に提出しま
した。3回にわたって
お知らせします。回
は3月末の予定です。答

今週の活動から



2014年が始まりました。憲法9条を守り、消費税増税反対、秘密保護法廃案への取り組み。厚木のまちづくりをどう進めていくか。くらしと平和にとって大切な1年になります。ご一緒に一步一步、着実に歩いていきましょう。今年もよろしくお願いします。(1月5日、厚木市合同賀詞交歓会にて、左：釘丸久子議員・右：栗山香代子議員)

1月の法律相談は

1月22日(水) 13時～

前日迄の連絡をお願いします。
次回2月19日(水) 13時～

1、医療・福祉の充実を

①介護保険事業は、実態をよく把握し、対象者・家族がより利用しやすいものとする。

②要支援1・2については、引き続き、介護保険事業として実施するよう国に要望すること。また、介護度を悪化させないためにきめ細かな対策を講じること。

③特別養護老人ホームなど高齢者施設の待機者解消のために、増床等の対策を講じること。

④介護従事者が専門職として生きがいをもって働けるよう、待遇改善を行い、研修を充実させること。また、従事者からの意見聴取を行うこと。



⑤かなちゃん手形の助成制度については、対象年齢を65歳に引き下げ、助成金額を拡充すること。

⑥厚木市として医療費の無料化をはかること。当面65歳以上の医療費を無料にすること。

⑦いつでも、どこでも、だれでも安心して医療を受けられるよう、国民皆保険制度の継続と医療費の無料化を国に要求すること。

⑧年齢による医療差別である後期高齢者医療制度の廃止を、国に求めること。

⑨国に対して、難病患者への公費助成のさらなる拡充と負担軽減を図るよう要求すること。

⑩厚木市立病院の建設については、引き続き、

患者・利用者、および周辺住民への配慮を行うこと。

⑪新病院開設に向け、医療スタッフ、および事務職員の充実を図ること。

⑫国に対して、国民健康保険事業への国庫負担の拡充を求めること。また、毎年度、市が要求した結果について明らかにすること。

⑬国民健康保険事業の広域化については、自治体の関与が少なくなり、市民への影響が大きいこと、現行制度の存続を求めること。

⑭一般会計からの繰り入れを増やし、国民健康保険料を引き下げること。

⑮国民健康保険料の減免制度を拡充すること。適正な職員配置により、懇切丁寧な納付指導を行い、資格証の発行を極力抑えること。

⑯国民健康保険一部負担金減免制度の周知徹底を行い、状況により他制度への紹介を行うこと。

⑰心身障害者医療費助成制度の年齢・所得制限を撤廃すること。

⑱障害者の雇用拡大を企業に働きかけ、法定雇用率の達成を求めること。厚木市が率先して障害者雇用の模範となるよう努めること。優良企業の顕彰を行うこと。

⑲障害者就労施設等からの物品の優先調達目標を引き上げ、達成に向け努めること。物品等の市民向け宣伝、販売機会・場所の拡大など市として支援を強めること。

⑳点字ブロックをより安全、確実な方法で設置し、さらに個所を拡大すること。

㉑歩道上に置かれた自転車・看板などは、通行の妨げになり、障害者にとって大変危険であることを周知し、速やかに撤去するよう、見回り・指導を行うこと。

㉒障害者の自動車ガソリン助成事業・福祉タクシー事業について拡大すること。

㉓福祉タクシー事業について、一枚の金額を初乗り運賃に引き上げること。

㉔生活保護の申請に関しては親身な相談を行い、申請しやすくすること。可能な限り早期の支給を行うこと。また、扶養照会については慎重かつ適正な対応をすること。

㉕生活保護基準引き下げにより、他制度への影響が生じないように配慮すること。

㉖脳脊髄液減少症に対して適切な対応を行い、周知を図ること。

㉗高齢者支援事業をひとり暮らし高齢者だけでなく、高齢者のみ世帯にも適用すること。

㉘シルバーチケットの対象施設に、荻野運動公園・ふれあいセンターのプールを加え、高齢者の健康増進を図ること。

㉙高齢者施策については、関係者に周知を図り、より利用しやすくすること。

㉚若年層を含めた精神障害者のためのグループホームの設置を推進すること。

